

(議長)

次に室井議員の発言を許可致します。

「室井議員」

はい。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

えーと、最初に、かもめ島入口交差点改良とラウンドアバウトについて質問致します。

私は過去の一般質問や、常任委員会、特別委員会などを通じ、歴史、文化遺産を有し、北前船の最北寄港地である、かもめ島と、いにしえ街道を結ぶ接着剤としての役割が大きく、極めて重要な交差点であると提言しております。

単に、急カーブ対策という道路構造に依る機械的判断に基づく道路改良ではなく、歴史の重みを感じられ、ランドマーク的な要素を考慮した事業を立案し、国土交通省へ要請するべきと、何度か提案しております。

しかし、ある日突然、ラウンドアバウトの話を聞かされ、あの場所に何故、という疑問が残っております。

私は、事業に反対する立場ではありませんが、町民の一部には相当な批判もあり、その起因は、情報公開の少なさと考えます。

以下、具体的に4点について質問致します。

1つ。ラウンドアバウト構想は、江差町側からの要請によるものか、国土交通省側からの提案なのか。

1つ。地域住民との懇談会、説明会が行われておりますが、内容が議会に知らされていないのではないかと思います。

3つ目。この事業を通じ、江差町が特に、特に長年の懸案課題が解決され、地域振興に大きく貢献される事業などを、国を要請されているのか。

4つ目。道の駅構想とラウンドアバウトの関連性は、今の段階では少ないと考えますので、要請するべき案件はしっかり検討、整理され、議会と協議をして頂きたいと思います。

以上。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

室井議員の1問目、かもめ島入口交差点改良とラウンドアバウトについてのご質問にお答えを致します。

室井議員からは、令和5年第3回定例会の一般質問で、国道228号線かもめ島入口交差点改良事業と江差町の係わりについてご質問を頂き、ご答弁を申し上げているところでございます。改めての答弁になる部分もございますが、その後の経過も含め、ご答弁を申し上げたいと思いますので、ご理解頂きたいと思います。

まず、ラウンドアバウト構想が、江差町側からの要請によるものなのか、国土交通省側からの提案なのかという点についてでございますが、江差町と致しましては、これまで、かもめ島入口付近の国道の急カーブ解消、或いは交差点改良を要望してきた経過がございますが、北の江の島拠点施設により交通量が増加することも想定されるため、改めて交差点改良を要望致しました。

また、改良方法については、T字路に近い形となるよう要請してきたところでございます。

一方で、函館開発建設部におきましては、カーブ区間の途中に、かもめ島へのアクセス道路が位置しているほか、カーブ区間の直後に交差点が位置していること、かもめ島のアクセス道路との交差点では、右折時の事故や出会い頭の事故が発生していることから、令和3年度には事故危険箇所、令和4年度には事故危険区間に選定し、令和5年度に交差点改良事業を事業化したところでございます。

函館開発建設部では、当該交差点改良に向けては、主流交通である228号を右左折交通、つまり直角とすることは道路構造令上で好ましくないという判断でございまして、改良の方法として、安全性や信号機の設置が不要であることなどから、ラウンドアバウト化の提案があったということでございますので、ご理解願いたいと思います。

次に、地域住民への説明の内容についてのご質問でございますが、ラウンドアバウト化に関しましては、函館開発建設部の発表を受け、昨年12月に全員協議会で説明をさせて頂き、同日の夜に、同じ日の夜に、姥神町・津花町地区の住民を対象とした説明会を開催しております。

住民説明では、函館開発建設部と江差町が主催したものでございまして、交差点改良に関しては函館開発建設部で、北の江の島構想に関しては江差町で説明を行っております。

ラウンドアバウト化に関しましては、函館開発建設部において、地域住民に対して、当該交差点の現状と課題、交差点検討について、ラウンドアバウトのルール、歩行者の安全、災害時、停電時の安全性について、今後のスケジュール等の説明を行いまし

た。参加された住民の皆様から出された主な意見をご紹介しますと、北の江の島構想との関連で、拠点施設整備後の交通量を見てから判断してはどうかといったご意見があり、これに対しては、江差町から他の道の駅等の整備例から交通量の増大が想定されるため、交差点の何らかの改良を函館開発建設部へ要請しているとの回答をしております。

また、大型車両通行に関するご質問がございましたが、函館開発建設部から大きな車が走ることを踏まえた設計を行っている旨、回答をしているところでございます。

江差町と致しましては、引き続き、地域の皆様には今後も必要な情報提供を行っていきたいと考えておりますし、議員の皆様にも必要に応じて説明、協議を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解頂きたいと思います。

ご質問の３点目、長年の懸案課題が解決され地域振興に大きく貢献される事業などを国へ要請しているかというご質問についてでございます。

かもめ島入口交差点改良にあわせまして、町の懸案課題についても国に要望すべきだという趣旨のご質問だと思います。

一例を挙げますと、直轄港湾整備事業として、国道に接続する、傷みが激しい臨港道路の改良整備も進められることとなっております。

町と致しましては、交差点改良が完了した後でも、運用面で課題がある場合、或いは地域から要望がある場合は、函館開発建設部へ必要な対応について、要請して参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

最後に、道の駅構想とラウンドアバウトの関係性、また要請すべき案件は、しっかり検討、整理し、議会と協議をとのご質問でございますが、繰り返しとなりますが、道の駅を新設することで、車両の流れが変化すると考えており、通行する車両の安全を考慮すると、交差点改良は必須であると考え、要望してきたところです。

北の江の島拠点施設整備におきましては、計画地への動線として、国道２２８号からの視認性、小型車の駐車場から施設までの距離、安全性・利便性等の観点から配置検討を行っており、国道の交通安全対策と拠点施設へのアクセスが密接に関わることから連携して整備を行ってまいります。

また、江差町と致しましては、かもめ島といにしえ街道を結ぶ接点としての交差点の役割の重要性を認識しているところであり、引き続き、函館開発建設部にも要望して参りたいと考えております。

引き続き、議会に対しまして、必要に応じて説明、協議の場を作って参りたいと考えておりますので、ご理解頂ければと思います。

「室井議員」

議長。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

簡潔に再質問します。

えーと、分かりました。あの一江差町からの要請で、函館建設管理部と協議したと、こういうことですね。道路改良について。これはよろしいと思います。

じゃあ、そうであればですね、私であればですね、思い切ってこういうのやってくれませんか、こういうのやってくれませんかと、やっぱり要望して、すべきことはきちっと要望していいと思いますよ。

具体的な事は、私今、申し上げません。今、全て申し上げるとですね、これは交渉の経過ですから、手の内全部見せる必要何も無いです。いくら情報公開と言えどもですね、守らなきゃならないことは守って、交渉して行く。

ただそのね、先頭に立つ人がですよ、きちっとした意識持って、江差町がこういうふうがいいものあるんだと言えるようなものをね、町民に、あそこの地区だけの問題じゃないですよ、町民にきちっと説明出来るようなですね、そういう体制、心構えが必要だと思います。

これ1点について答弁願いたいと思います。

(議長)

副町長。

「副町長」

えーと、室井議員からの再質問。

えーとおっしゃる通り、えー議場で中々言葉として、あそこがこういうふうにしたとか、こういう形には中々、あーきちっと答弁できない部分は当然ございます。

ただし非公式な場面も含めて、ここをこうして欲しい、あそこをこうして欲しいってことも含めて出してございます。

それから、今開発建設部さんの、まあ立場を、あの一それなりに我々も考えてはいるんですけども、加えて、開建を、まっ越えてっていうか、政治的な面も含めて、それは町長も色んな動きもしてございます。

加えて、今これからやっと、今ラウンドアバウトの部分での、用地の関係にも入っている状況もございまして、えー近々というか、ある月に、やはり議会の皆さんに、江の島の関係の事業者の絡みも含めて、情報提供申し上げる場面を持ちたいなというふうに思ってますんで、その時点でまた、今現在、えー考えている構想について、まず議会の皆さんにお知らせしたいと、このように思っていますんで、よろしく申し上げます。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

副町長ね、そういうものでもない、答弁。で、答弁でいいですよ。

あの一新しい、まちづくり推進課長、しっかりね、前向きに考えて、ね、提案しづらいことも有るかも知れない。ね、町長、副町長に言いづらいことも有るかも知れないけど、常に、常にですよ、江差町民のこと考えて、どんどんアドバイスして下さい。

それを受け入れない方では無いと思いますよ。

期待していますから、よろしく。決意の程を申し上げて下さい。

(議長)

まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

えー室井議員から激励のお言葉だと思います。

えーしっかりですね、あの一与えられた職責を果たして、江差町のまちづくりの振興に努めて参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

「室井議員」

はい。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

えーと、2問目。えーと開陽丸記念館本体の大規模改修計画の方向性について伺いたと思います。

これまでも改修工事の必要性については、同じく多くの議員からの質問や委員会事務調査などを通じ、塩害、経年劣化が著しい、記念館本体の早期改修計画の必要性が問われておりました。

そんな中、昨年12月17日の強風によりマストのトップヤードが破損し、本年3月28日の第2回臨時会で応急処置予算900万円を可決。連休前に工事を終わっていますが、今後、更に大規模被害が発生する可能性は十分あると見ております。

近々に開陽丸記念館と連動し、隣接して道の駅計画があります。改修工事は、調査から事業着手、完成まで、大きな事業費が必要とされます。

どう工面するのか、江差町の力量が試されており、また、歴史、遺産の町として、あのまま、しておくことは出来ないと思います。

全力を挙げてね、役場の中だけでは無いですよ。色んな人の知恵を借りて、色んな方のご支援をもらって、早期にですね、目処、こういう調査費の予算が付いたという、いい方向をね、町民に示してもらいたいと思いますけど、如何でしょうか。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

室井議員からの２問目、開陽丸記念館本体の大規模改修計画の方向性についてのご質問にお答えを致します。

昨年１２月１７日の強風により破損致しました、開陽丸のフォアマストのトップヤードにつきましては、３月２８日に開かれました第２回臨時会におきまして、撤去に係る補正予算を可決頂き、速やかに撤去を進めたところでございます。

撤去工事に際しましては、足場を設置し、フォアマスト上部の状況の調査も行いましたが、目視調査の結果、マストの脚の部分やヤード接合付近の多くで塗膜の劣化や層状の錆が発生しており、著しい腐食に伴い穴が開いている箇所が見られるとの調査結果の報告があったところでございます。

この調査結果を受けまして、現在、引き続き、甲板への立ち入りを制限している状況でございまして、可能な限り早い段階で、改修計画策定に向けた考え方をお示ししたいと考えております。

改修には多額の費用がかかります。財源対策が大きな課題となることは言うまでもありません。施設の改修のみを対象とした補助メニューはございませんが、文化庁や国土交通省の補助メニューの中で、計画の中に開陽丸記念館本体の改修も組み込みながら、補助を受けられるようなメニューを様々なルートを通じながら模索している段階でございます。

また、財源確保の手段として、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税などによる財源調達なども含めて、検討をして参りたいと考えておりますので、ご理解頂きたいと思います。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

1つだけ簡潔に提案したいと思います。

東京都日野市に、土方歳三記念館がございます。そこには、土方歳三さんと親類が住んでおりまして、テレビに入っていましたね。開陽丸に非常に関わりが深いんですね、土方歳三さんと。

これ連携してですね、日野市、函館、江差、連携してですよ、この開陽丸のこと、江差町単独だけではなくて、やっぱりそういう事業要請、図って貰えるようなですね、そういうこと図るべきだと思いますよ。

是非、あの一土方歳三記念館をですね、是非、ここどこなのかな、教育委員会かな管轄が。どこなんですか。是非、見に行行ってね、ちゃんとアポ取って、これ縁を結んでください。土方歳三さんの親戚と縁を結んで、江差はこうだと、全国的にですね、効果が有りますよ。

そういう生きたことを考えて貰えませんか。従来通りやったって、出来っこないんだって。出来っこないから従来通りに行かないんだ、やっても。

出来ないからゾロゾロただ来てるんだ。

思い切ったことをやらなきゃ駄目だと思いますけど、そういう決意ありますか、町長。どうですか。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

はい。室井議員の再質問にお答えを致します。

先程、1回目の答弁でも、さまざまな手段、ルートを通じながら、あーその財源対策を模索しているという答弁をさせて頂きました。

この間にもですね、今、室井議員がご指摘の土方歳三の子孫の方と、何度かお会いを、直接お会いをしてですね、今の開陽丸の状況、或いはですね、今後の在り方というものを、意見交換をさせて頂いて来ております。

土方歳三さんの曾孫さんにあたる方だというふうに思いますけれども、何度も江差にもお越しを頂いております。

また、あー昨年度、開陽丸記念館の内部をリニューアルするという検討委員会の中にはですね、他に赤松さんという方、これも子孫の会員の方ですけども、この方にはですね、検討委員になって頂いて、開陽丸の魅力の在り方というのを、一緒にご議論

して頂いたところでございます。

我々にとっては、やはりこの開陽丸を通じた子孫の方々との連携、協力を促して行く、仰いで行くということは、非常に大きな力になるのではないかなというふうに思っております。

そういった中で、室井議員からご指摘のそういった連携、特に土方歳三を軸にいうところ、しっかり踏まえてですね、開陽丸のリニューアルに向けて全力で取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

よろしいですか。

(議長)

はい。

「室井議員」

えーと最後です。

水堀、日明保育園の長寿命化改修計画について伺いたいと思います。

本年第1回定例会において、私は公共施設の長寿命化改修計画の見直し、スクラップアンドビルドに対する考え方を提言し、所見を求めています。

水堀、日明保育園は、外観上、劣化がされていると見られますが、長寿命化改修計画には含まれておりません。

今後、どのような基本的な考えに基づき対応を図るのか、現時点の考えがあれば伺いたいと思います。

以上。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

室井議員の3問目、水堀、日明保育園の長寿命化改修計画についてのご質問にお答え致します。

水堀、日明の両保育園につきましては、平成30年、令和4年にそれぞれ議会で事



務調査が発議され、社会文教常任委員会の調査報告では、施設の老朽化と児童数の減少に伴う供給体制の検討・施設統廃合の検討は待ったなしの状況との意見が付されており、江差町公共施設等長寿命化計画では、園児数の減少や施設の劣化等を考慮し、統合を検討しますとしているところでございます。

町としましては、昨年１１月には泊町以北の未就学児の保護者アンケートを実施する等、北部保育園の統合のあり方につきまして検討を重ねてきております。

ご承知のとおり、現在の水堀保育園は洪水浸水想定区域にあり、日明保育園は土砂災害危険箇所に建っています。

また、昨年実施しました保護者アンケートの回答では、それぞれの保育園を建替え、或いは、いずれかを建替えという意見よりも、別な地区に統合という意見が上回って、半数以上を占めており、現在地以外での整備も含めて内部で検討をしているところでございます。

冒頭に申し上げましたように、施設統廃合の検討は待ったなしの状況でありますことから、７月上旬頃を目途に、現時点での考え方を議員の皆様、まずはお示し、その後、保護者並びに地域の方々との意見交換を重ねた上で、集約結果も含めて、再度、議員の皆様と協議を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

「室井議員」

議長。

（議長）

室井議員。

「室井議員」

えーと、簡潔に１点だけ。

私あの一、３月定例会でもお話しました。地域からですね、そういう子供の姿、子どもの声、聞こえなくなるってのは、すごく寂しいものなんです。本当に寂しいと思いますよ。

すごい若いお姉さんが、子供の手を引いて、ね、歩いている姿を見るとですね、本当我々ホッとしますよ。嬉しく思いますよ。

だから、色んな事これからあって、統廃合、統合される方の身になるとですね、寂しい思いしますから、そこは何とか行政的にですね、全てやれと言いませんけども、ね、元気、寂しくならないような工夫も、同時に考えてやるということが非常に大事だと思いますけど、そういう考え方がございますか。

(議長)

副町長。

「副町長」

はい。あの一今回、室井議員から一般質問を頂いて、初めて今、町長の方から現時点での町の考え方、方針を決めた訳ではございません。現時点での町の考え方を7月上旬頃を目途にまず示します。それが議会の全員協議会で。その上で当然、議員の皆さんからのご意見、ご質問有ると思いますんで。

更に保護者、地域に入っていきます。それらのまた意見も踏まえた中で、今、室井議員の、まあどういった、言わば子供姿があって、地域が色々と活気づくんだという部分の、仮に統合される部分の地域の意見はどうなのかということも当然、模索しながら、それを重ねながら、最終的には議会と決定して行きたいと、こういうふうに思っていますので。

あの一、度外視した話では当然ございません。一応それらは、連動した形で進めさせていただきます。以上です。はい。

(議長)

以上で、室井議員の一般質問を終わります。

以上で、今定例会で通告のありました一般質問は、全て終了致しました。

これで一般質問を終結致します。

えー3時半まで休憩致します。

休憩 15 : 19